

瀬戸市地域公共交通会議

平成21年4月1日設置
平成21年7月2日連携計画策定



概要

既存のバス路線や鉄道と連携した利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けて、瀬戸市内における基幹となるバス路線を設定するために実証運行を実施する。民間バス事業者撤退後の2路線を新規路線とし、既存の2路線を含めた全4路線をバス公共交通軸と位置づけて全面的な路線の再編を行う。また、乗継環境整備として、市内基幹バスと地域アクセスバス(コミュニティバス)との乗り継ぎのための拠点整備や鉄道駅での乗り継ぎ利便性向上のために環境整備をする。さらに、総合交通マップの作成により住民への情報提供を充実させ周知させるとともに、住民、企業・職場を対象としたモビリティマネジメントを実施することにより交通行動の変容を推進し、公共交通の維持・活性化を図る。

○公共交通軸形成計画(市内基幹バス試行運行)

- ・瀬戸北線(バス公共交通軸1)の試行運行 廃止代替
- ・瀬戸循環線(バス公共交通軸2)の試行運行 廃止代替
- ・赤津線(バス公共交通軸3)の試行運行
- ・東山線(バス公共交通軸4)の試行運行

○円滑な乗り継ぎ環境の確保

- ・品野地区に乗り継ぎ拠点の整備
- ・水野地区に乗り継ぎ拠点の整備
- ・瀬戸市南部に乗り継ぎ拠点の整備

○公共交通の利用を促進する施策

- ・市民向け広報の実施、交通総合マップ等の作成
- ・運賃割引制度等の展開

○交通行動の変容を促進する施策

- ・住民を対象としたモビリティ・マネジメントの実施(サービスレベルアップ前の事前調査及び動機付け、事後アンケート)
- ・企業・職場におけるモビリティ・マネジメントの実施(工業団地に対してアンケートを実施し、試行運行)

